

第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー

第1報



2022
8.9 発行

記念講演は

「病気は社会が引き起こす」の著者

木村 知(とも) 医師 に決定!

なぜインフルエンザは毎シーズン大流行してきたのか? 総合診療に従事する木村医師は「風邪でも絶対に休めない」という社会の空気が要因の一つだと指摘されています。「皆勤賞、やめませんか」「休むことは罪悪か」などを問いかけ、不寛容社会ではない「困ったときはお互いさまの社会」「支えあうために生きている」ことを解き明かして頂きます。

社会保障費の削減政策が進み、負担は増え健康自己責任論が叫ばれている今日、医療、社会保障制度のあり方について示唆に富むお話しをしていただきます。

10月29日(土) 午後・30日(日) 午前
YouTube 配信

病気は
社会が引き起こす

インフルエンザ大流行のワケ

木村 知



テーマ(基本コンセプト) 「病気や障がいと労働」

労働者が人間らしい労働・生活を送り、人間的な発達をとげるためにも、個人の選択を尊重した社会保障の充実を前提とした労働権(日本国憲法27条)が重要です。疾病や障がいの有無、性自認、介護や家事などの家族的役割にかかわらず、すべての働く人びとがそれぞれの生き方に合わせた労働をする権利が保障される必要があります。

今日、日本人の2人に1人が癌にかかり、3人に1人が癌で死亡するなか、労働生活中に癌が発生する労働者も増えてきています。癌や透析、脳血管疾患などを発症した労働者への配慮は、職場や医療機関、地域の支援組織など、総合的な対策が必要です。障がいを持った労働者の働く機会が、障害者雇用促進法や障害者総合支援法の制定もあり、日本における労働が肉体労働から頭脳労働、そして感情労働へと変化を遂げる中、IT化とも相まって増加してきています。しかし、人間工学的対策が不十分な職場環境で2次障がいを受ける労働者も増えており、メンタルヘルス不調の労働者の職場復帰や「合理的配慮」も今日の課題として重要です。「病気や障がい」「高齢」「家族的役割」はすべての労働者に共通した課題となっており、今回の基本コンセプトを「病気や障がいと労働」とし、その両立に関する多角的な議論を行いたいと思います。

<企画案内>

□第1日 「病気や障がいと働く権利」

○講演 ○シンポジウム *障害と労働 *がんなど病気と職業生活の両立支援 *病気や障がいのある労働者に対する合理的配慮・両立支援 *他、調整中

□第2日 「病気や障がいのケアと労働」

○シンポジウム *子どもに障がいがあったら働けない? *介護と労働 *他、調整中

追ってご案内!

(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0049 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp

☆以下の詳細は8月下旬頃にお届けする「開催要項」をご参照ください！

一般演題の募集

本来なら分科会を開催し参加者の皆さんで討論を行うところですが、コロナ禍でのWEB開催となるため困難となっています。今回は、各地で奮闘されている実践の報告、働くものを取り巻く実態や健康問題について報告を一般演題として募集します。寄せられた報告は報告集にまとめます。

報告は次のテーマに沿ってお寄せください。

<募集する一般演題のテーマ> ※項目のみ

◆病気のある労働者の働く権利、休む権利 ◆障害のある労働者の働く権利 ◆働きながら介護を行っている人びとの健康権 ◆雇用によらない働き方と健康 ◆高齢者の労働と健康 ◆感情労働と健康権 ◆労働者のメンタルヘルス ◆職場でのいじめとハラスメント対策 ◆外国人労働者の労働と健康 ◆コロナ禍における格差と貧困の進行 ◆ひとり親世帯の働く環境について ◆親の働き方と子どもの貧困 ◆働く女性の健康 ◆非正規雇用と健康 ◆労働災害と補償 1) アスベスト問題 2) じん肺・振動病 3) 職業がん 4) 原発労働者 ◆過労死・過労自死問題 ◆コロナ禍での労働安全衛生活動 ◆医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康 ◆自営業・中小零細業者の健康 ◆公務労働者の労働実態と健康 ◆24時間社会・深夜労働と健康 ◆ブラックバイトの問題 ◆学校、職場、地域で働くルールを学ぶ

参加申込、広告募金、等

1)参加申し込みについて

(1) 昨年同様、九州セミナーホームページからとなります。パソコン又はスマートフォン（QRコード）から行っていただけます。HP アドレス <http://kyusemi.jp/>

(2) 参加を受け付けた後に YouTube の視聴用 URL を各参加登録者にお送りします。

2)参加費について

YouTube 配信ため利用規約上徴収ができませんので無料とします。

3)広告募金について

今回もご協力をお願い致します。今回のセミナーをはじめとする九州セミナーの年間を通じた活動は、毎年セミナー開催でご協力を頂いている広告料が主な収入源となります。各団体のご協力をお願い致します。

4)賛助金の募集について

広告募金とは別に、活動を支える費用捻出のため、別途、各団体、個人に賛助金をお願いすることとしています。

5)報告集について

寄せられた報告はホームページにもアップしますが、冊子としてまとめ1冊 1,000円でお分けします。

以上



第32回九州セミナーのシンポジストが決まりました！

第1日 10月29日(土)

□ シンポジウム1 15:00~17:30

「病気や障がいのある労働者の働く権利」

- 1) 障害と労働 「働きたいと思った当事者がたくさんの選択肢の中から仕事を見つけられる社会(課題)」

◇岩岡 美咲さん(北九州市立大学大学院生)

岩岡美咲さんは、高校生時代に体操競技中の事故で頸椎損傷をうけ、人工呼吸器を装着し、移動も車いす利用となっています。その後、北九州大学を卒業し、現在は大学院で学びながら「介助付き就労」をされています。当事者の立場から問題提起して頂き、働きたいと思った当事者がたくさんの選択肢の中から仕事を見つけられる社会をどう実現していくのかを一緒に考えます。

- 2) 病気や障がいのある労働者に対する「合理的配慮、両立支援」

◇埜田 和史さん(働くものの命と健康を守る全国センター理事長・びわこリハビリテーション専門職大学教授)

「治療」と「就労」の両立支援を考える際には、①患者の視点、②事業所の視点、③医療機関・主治医の視点が必要と言われています。この3つがうまく連携しないと両立支援はできません。がんやメンタル不調者などの疾病を持つ労働者の治療と職業生活の両立、さらに障害を持つ労働者への合理的配慮について概説して頂きます。

- 3) 過労死・精神障害のメンタル不調者の職場復帰支援

◇井下 顕さん(弁護士、六本松総合法律事務所)

メンタル不調者が安心して療養し回復後の就労を補償する制度の確立が求められています。しかし、病気休職制度を利用した人の退職率は高い水準にあり、メンタル不調者に対する復職支援における合理的配慮が課題と言えます。脳心臓疾患や精神障害による労災申請にかかわってこられた立場から、労働者のメンタル不調の職場要因とともに、復職に関する職場の改善や配慮に関する報告をしていただきます。

- 4) 治療機会の喪失と社会経済要因

◇川路 潔さん(全日本建設交運一般労働組合九州支部 執行委員長)

病気になっても診断の遅れや経済的理由などで適切な治療機会が奪われ、症状が悪化する事例は多数あります。これまで職業病の罹患患者の掘り起し、労災申請に労働組合で取り組んで来られた立場から、職業病患者は在職中に適切な診断と治療を受けることができないのかを、事例をもとに報告していただき考えます。

5) 高齢労働者への合理的配慮

◇渡邊 宏さん (福岡県労働組合総連合 事務局次長)

近年、高齢労働者が増加しており、60歳以上の労働災害が増えています。国も「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」を出していますが、その対策・対応は不十分です。福岡県労連の労働相談センターには、多くの高齢労働者の労働相談が寄せられています。労働相談事例をもとに、高齢労働者の健康に働き続ける権利と「合理的配慮」について考えます。

第2日 10月30日(日)

□シンポジウム2 9:50~12:20

「病気や障がいのケアと労働」

1) 子どもに障がいがあったら働けない？

◇安中 知恵さん(「子どもに障がいがあったら働けない？」実行委員会)

障害のある子どもの母親の就労と生活状況は深刻です。安中さんは障がいを持つ子供さんの母親で、オンラインセミナーを開催し多くの仲間を励ましています。障がいのある子どもの保育・教育の課題とともに、主なケアラーとされている母親の健康に働く権利実現に向けた実態と課題の解決方法について提案いただき一緒に考えます。

2) ヤングケアラーと就労 「障害」のある人の「きょうだい」

◇仲田 海人さん(那須塩原市ヤングケアラー協議会、栃木県ケアラー支援に関する意見交換会委員)

仲田さんは、障害のある人の「きょうだい」としてケアに携わり、高校卒業後は大学で福祉や医療を学び、現在の作業療法士の道に進まれました。いまは夢であった介護ロボットの政策に福祉分野の専門職として携わることができ、「やりたいことにかかわれている」と受け止めていると言います。著書「ヤングでは終わらないヤングケアラー」で、「きょうだい」「親」「支援者」「専門家」といったたくさんの人で支えることが重要で、必要な人に届く福祉を強調されており、この分野についてともに考えます。

3) 介護と労働

◇緒方 弘征さん(親仁会米の山病院 医療ソーシャルワーカー)

働き盛り世代の介護離職は深刻な問題です。いったん離職すると再び正社員に戻る事が困難という実態があります。医療ソーシャルワーカーとして、病院や地域包括センターで多くの介護支援を行っている経験から、介護と仕事の両立の実態と必要な支援について報告して頂き介護と労働について考えます。

(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0049 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp

第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー

第3報



2022
9.22 発行

一般演題のエントリーを急ぎましょう！

九州各地の職場・職域で奮闘されている仲間の取り組みを九州セミナーの歴史に残しましょう。共有すべき報告（3演題程度）について、第2日目の冒頭企画で発表の機会を設けます。

寄せていただいた報告は「報告集」として冊子にまとめます。報告集は1冊1,000円で販売します。必要な方は、参加申し込み時に「報告集の要・不要」と「必要冊数」を入力フォームに記入してください。10月3日までにお申し込みください。なお、参加登録された方には、セミナー当日の数日前よりホームページ上で閲覧できるようにします。

◆エントリーは、パソコン又はスマートフォンから！

*パソコンからの申し込み

<http://kyusemi.jp/> ⇒ 一般演題応募フォームに入力

*スマートフォンからの申し込み

右の「一般演題応募フォーム QRコード」を読み取って入力



◆報告原稿の様式と送り先

(1)「開催要項」にあるテーマに沿ってご応募ください！

(2)報告原稿は、以下の形式で作成してください。

- ワードで、A4サイズの縦用紙で2ページ以内。上下左右の余白は25mmとして下さい。
- 文字の大きさの目安は、タイトルは12ポイント、本文は10.5ポイントの明朝体。
- 横書きで、1行の文字数は38、行数40を目安として下さい。
- 表題、所属団体、氏名を最初の5行までに記載して下さい。

(注)資料を添付された場合、編集の都合上、全ての資料を掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。応募原稿、資料は返却しません。

(3)報告原稿(データ)の送り先

ワードとPDFの2通りで、下記のメールアドレスまで！

E-mail: bunkakai32@gmail.com

(4)報告原稿のデータは 10月3日(月) までにお送りください。

(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0094 北九州市戸畑区天神1-13-13 シティルーム天神1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp



第32回

人間らしく働くための九州セミナー

10月29日(土)・30日(日)

 YouTube 配信！！



記念講演

病気は社会が引き起こす？ 新型コロナと『健康自己責任論』

基本コンセプト
病気や障がいと労働

記念講演講師プロフィール

木村知(きむら とも) 医師・文筆人

1968年 カナダ生まれ

1994年～2004年 大学病院等で外科医（一般・消化器外科）として診療に従事。

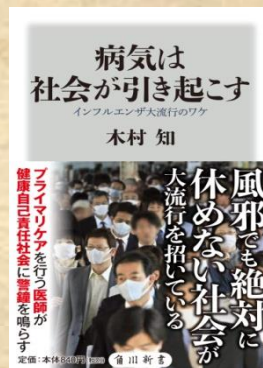
以後、総合診療・在宅医療を中心とした医療活動を行う。

診療のかたわら、医療系メルマガ・ウェブマガジン・SNS・書籍、国会議員の質問主意書原案作成等の執筆活動を通じて、医療問題のみならず時事・政治問題についても意見発信を行っている。

医学博士 2級ファイナンシャル・プランニング技能士

著書

- * 「医者とラーメン屋 本当に満足できる病院の新常識」 (文芸社)
- * 「クエスチョン・バンク看護師国家試験問題解説」 (メディックメディア)
- * 「看護師国家試験のためのメディックメディア模試」 (メディックメディア)
- * 「病気は社会が引き起こす インフルエンザ大流行のワケ」 (角川新書)
- * プレジデント・オンラインに定期寄稿中



九州セミナーへの参加はQRコード又はHPで申込！！！！

参加用QRコード



人間らしく働くための九州セミナー



第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー



10月29日(土)
10月30日(日)

シンポジウム | 「病気や障がいと働く権利・休む権利」

10月29日(土) 15:00~

「働きたいと思った当事者がたくさんの
選択肢の中から仕事を見つけられる社会」

岩岡美咲さん

北九州市立大学大学院
社会システム研究科
地域コミュニティ専攻

「合理的配慮」と「治療と就労の両立支援」

埜田和史さん

働くもののいのちと健康を守る
全国センター理事長
びわこリハビリテーション専門職大学
教授

「過労死(遺族)・精神障害等
メンタル不調者の職場復帰支援」

井下顕さん

六本松総合法律事務所
弁護士

「治療機会の喪失と社会経済的要因について
一じん肺、振動障害、騒音性難聴に被災した
労働者の実態から」

川路潔さん

全日本建設交運一般労働組合
九州支部執行委員長

「高齢労働者への合理的配慮」

渡邊宏さん

福岡県労働組合総連合
事務局次長

九州セミナーへの参加はQRコード又はHPで申込！！！！

参加用QRコード



人間らしく働くための九州セミナー

第
32
回

人間らしく働くための 九州セミナー



2022
10.21 発行

2 日間のタイムスケジュール

《1 日目》 10月29日 (土)

13:30	開会
13:45~14:45	記念講演
14:45~15:00	休憩
15:00~17:20	シンポジウム I 「病気や障がいを持つ労働者の働く権利・休む権利」
~	事務連絡
17:30	休会

《2 日目》 10月30日 (日)

9:00~9:40	共有演題発表企画 (3 演題)
9:40~9:50	休憩
9:50~12:20	シンポジウム II 「病気や障がいのケアと労働」
12:20~	閉会行事 ~ 閉会挨拶
12:30	終了

◆参加申し込みを延長しています。

前日の 28 日(金)まで受け付けます！

申込は九州セミナーホームページから

<http://kyusemi.jp/>

参加申し込みバナー ⇒ 参加申し込みフォームに入力

(お問合せ) 第 32 回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会 <http://kyusemi.jp/>
〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F 九州社会医学研究所内
事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp



第32回

人間らしく働くための九州セミナー

10月29日(土)

10月30日(日)

YouTube 配信

基本コンセプト「病気や障がいと労働」

第2日目 10月30日(日)

9:00～ 「共有演題発表企画」 3演題

9:50～ シンポジウムII 「病気や障がいのケアと労働」

安中 知恵さん

「子どもに障がいがあったら働けない？」

「子どもに障がいがあったら働けない？」実行委員会

仲田 海人さん

「ケアと労働のバランスについて」

栃木県ケアラー支援に関する意見交換会 委員
那須塩原市ヤングケアラー協議会 立ち上げメンバー
とちぎきょうだい会 代表

緒方 弘征さん

「母親の介護経験がある女性へのインタビューを通じて、介護と就労を考える」

親仁会 米の山病院 医療ソーシャルワーカー

お知らせ

10月28日まで参加申込を延長しています！

参加申し込みの際の注意事項

参加申込の登録をされますと、その申込内容の自動返信メールが登録されたメールアドレス宛てに直ぐに送られるようになっています。自動返信メールが届かない場合、**メールアドレスの誤入力**が主な原因です。ご注意ください。

これ以外でメールが届かない場合は下記へお問い合わせください。

☎093-871-0449 ✉seminar@k-shaikens.jp

九州セミナーへの参加はQRコード又はHPで申込！！！！

参加用QRコード



人間らしく働くための九州セミナー



第32回

人間らしく働くための九州セミナー

基本コンセプト

「病気や障がいと労働」

10月29日(土) 13:30~

10月30日(日) 9:00~



参加申込用QRコード



参加申込

10月
28日(金)まで

<http://kyusemi.jp/32seminar/entry/>



(お問合せ) 第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会

<http://kyusemi.jp/>

〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F

九州社会医学研究所内

事務局 日高 ☎093-871-0449 Email: seminar@k-shaiken.jp



第32回

人間らしく働くための九州セミナー

YouTube 配信

基本コンセプト

「病気や障がいと労働」

1日目10月29日(土) 13:30～ 2日目10月30日(日) 9:00～

参加申込用QRコード

参加申込

10月
28日(金)まで



「<http://kyusemi.jp/32seminar/entry/>」

ご案内①

10月26日より報告集の資料が九州セミナーHPでご覧いただけます！

お送りした報告集URLよりアクセスをお願いします！！

ご案内②

参加申込の登録をされた方へ

- ・セミナー視聴用YouTube URL (1日目・2日目)
- ・「報告集」資料掲載URL

上記2点のURLを登録いただいたアドレスに10月24日より順次お送りしています。URLが届いていない方がいらっしゃいましたら下記の**(問い合わせ先)**までご連絡ください。

(**お問合せ**)第32回人間らしく働くための九州セミナー実行委員会

<http://kyusemi.jp/>

〒804-0094 北九州市戸畑区天神 1-13-13 シティルーム天神 1F
九州社会医学研究所内

事務局 日高 ☎093-871-0449 Email:seminar@k-shaiken.jp